

平成27年(2015年)2月5日(木曜日)

みやぎ

Eが

ソフト開発故郷に貢献

自社製作の入社内定者向けサポートウェブシステム「ようこそ、はたらく準備はじめの君(くん)」が好評だ。「規則正しい生活やあいさつなど、会社に入る前に『当たり前』を身に付けるシステムが欲しいという声が多かった」。発売から5年たっても、問い合わせが相次いでいる。

「コンピュータシステム開発」社長

佐藤 公幸さん(56)



して働いた。1998年に独立、現在の会社を設立した。経営は順調だったが、2008年のリーマン・ショックで業務が激減。売り上げはピ

ックで大打撃を受けた。受託開発やエンジニアの派遣業務が激減。売り上げはピ

ンチをチャンスに変えたのは、発想の転換だった。「自社でエンドユーザーを持たなければ」。社を挙げてソフト開発に力を入れ

る。「はじめの君」もその一つ。「社会保険労務士の先生など、さまざまな支えがあったおかげ」と振り返る。

蔵王町遠刈田のこけし職人の家に育った。東日本大震災後は、福島第一原発事故の風評被害に苦しむ町のホームページに放射性物質量情報の公開システムを構築して提供した。

「少しでも故郷のために働きたかった」。現在も遠刈田の自宅から、1時間かけて仙台市内のオフィスに通う。

幾 徳工業大(現神奈川工科大)卒業後、仙台市内の計算センターに勤務。98年に現在の会社を設立。シニア向けの健康促進活動を考える一般社団法人健康デザイン研究所の理事も務める。